

初めて体験した大型台風二十三号

豊岡市立三江小学校六年

森本 淳也

朝、先生から今日は三時間ですと聞き、ちよつとうれしかったです。でも、台風二十三号が来ると聞いて、そのうれしさはなくなりました。十一時五十分ぐらいに一斉下校で家に帰るときは、もう雨や風が強かったです。ぼうしが飛ばされたりもいました。

その夜、お父さんとお母さんが急いで会社から帰ってきた。大切な物をカバンに入れていました。もしかしたら避難するかもしれないと聞き、僕たちも宝物と少し食料をリュックにつめて、避難場所に行く用意ができました。

七時十五分に市役所から避難命令が出て、お母さんとおばあちゃんも急いでわかめのおにぎりを持って、車で三江小学校に避難しました。そのときすでに、水が道路に来ていました。学校に着くと、友達がたくさんいました。

した。その夜はわかめご飯を食べて寝ようとしたけど、不安で眠れませんでした。

次の日、グラブを見るところ湖でした。僕の家は無事だったので安心したけど、あと一時間ぐらい雨がふっている。床上浸水でした。田山川がけっかいした所や他の地区を見に行くと、とてもすごいことになっていました。

僕は、生まれて初めてこの大型台風二十三号を体験し、とても自然の力はおそろしいことばかりでした。もう二度と、こんな町を

こわす台風や地震がないことを心の中で願っています。でも、台風のおかげで学んだこともあります。それは、ご飯のありがたさと友達

の大切さです。自分たちは楽しい生活をしているけど、被害にあわれた方々は、一日でも早く楽しい生活にもどってほしいです。この大型台風二十三号のことは、一生忘れないようにすべし。心のはしっこのほうに、しまっておきます。